

## ○連載：図書館のモノ・もの(No.20)

### ◎No.20 裁断機

普段,利用者のみなさんはあまりお目にかからないところに,裁断機はあります。徳島大学附属図書館1階の印刷室に鎮座しています。

おもな利用目的は,卒業論文などの製本をするときに美しく製本できるよう,紙を揃えて裁断することです。同じ部屋にNo.19で紹介した簡易製本機もあります。他の図書館でも,裁断機と簡易製本機はセットで置いてあるようです。

### ○裁断機正面



### ○裁断機後ろから



徳島大学附属図書館本館においてある裁断機は昭和47年製作で,製造元は勝田製作所。この会社は今どうなっているのだろう,と思ってインターネットで調べたら,ちゃんとホームページがありまし



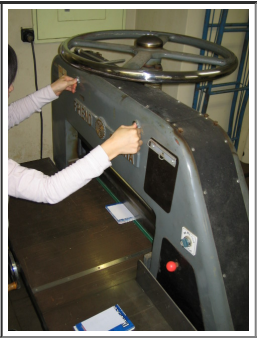
た。

ホームページはこちら→ <http://www.katsuda-works.co.jp/>

トップページに“フレンド断裁機”の名称で多くのユーザーの皆様が親しまれている弊社の製品・・・とあります。そこで、徳島大学附属図書館の裁断機を見てみるとちゃんと「FRIEND220HA」と表示してありました。

昔の機械らしく、重厚な鉄の塊で、操作するのもおっかなびっくりです。初めて使うときには、「うっかり手を置いていると切れるからね」と脅されました。

## 操作方法

1 スイッチのつまみを回し、「運転」にする。裁断する紙をセット	
2 ハンドルを回して紙を固定する。	
3 緑の2つのボタンを同時押すと、カッターが下りてきて、裁断。	

2つのボタンを同時に押すのは、安全装置なんだそうです。両手でボタンを押すようになるので、これなら手を切ることはない、ということでしょう。ただし複数で作業するときは注意が必要ですね。

今回この記事のために久しぶりに稼動してみたのですが、電源コンセントが3極接地極付コンセントなので驚きました。

○コンセント



そしてスイッチをいれると、“ヒョーンンン・・・”というものすごい機械音。なんだか高度経済成長期の町工場みたいです・・・でも、立派に紙を裁断することができて、現役ぶりを発揮してくれました。

---

[メールマガジン「すだち」第33号本文へ戻る](#)

---

【すだち】徳島大学附属図書館報 第33号

〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館

Copyright(C)国立大学法人 徳島大学附属図書館

本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します

---